

『中山侯爵家蔵書目』——解説と翻字——

高橋 昌彦

中山家は、花山院忠宗の子忠親を祖として、平安末・鎌倉初期に始まり、その忠親は日記『山槐記』で知られている。室町期には武家伝奏をつとめるなど、故実典礼に通じた家柄であった。江戸時代後期の愛親は尊号事件でその名を残し、愛親の娘續子は典侍を勤め、その日記(『中山續子日記』)は宮中の儀式や年中行事に関する貴重な文献となっている。幕末になると、王政復古策をはかり、倒幕に活躍した忠能(明治二十一年没、享年八十)が、明治十七年に侯爵となる。なお、忠能の娘慶子が孝明天皇に仕え、後の明治天皇を生んだため、外祖父として重きをなすことになった。忠能の後を嗣いだ孝磨(大正八年没、享年六十八)は、東宮侍従長や宮中顧問官などを勤めた。紹介する『中山侯爵家蔵書目』(以下『書目』と略す)は、大正元年当時の調査で、この孝磨の代にあたる。孝磨没後の昭和四年に、売立目録『侯爵中山家／大岡家所蔵品入札』が出ており、多くの書画に混じって、『書目』中の書名も見えることから、これらの蔵書のどの程度かは不明だが、散佚してしまったことがわかる。そ

れでも『国書総目録』を見ると、秀磨の嗣子である輔親(昭和五十五年没、享年八十七)を所蔵者として、『書目』中の書名がいくつか載っており、今もなお中山家に残るものもあるようである。と同時に、他の所蔵機関になっている書名も何点かあり、両方に国宝・重文・重美に指定されたものが見える。よく知られているものには中山家本源氏物語があり、日本古典文学会編『復刻日本古典文学館中山家本源氏物語』(昭和四十六年～同四十七年刊、以下『復刻』と略す)によって、重文である同書を目にすることができる。『復刻』の池田利夫氏解説によれば、所蔵者中山輔親氏の話をうけて、この『源氏物語』は「氏の父君孝磨氏が、明治二十年代に烏丸家から譲渡されたものの一である。烏丸家も藤原日野流の和歌の名家であり、この一群の本は、恐らく細川幽齋から烏丸光広に伝えられたと思われる。」とある。確かに、『書目』前半の貴重図書百三十余点中には、光広・資慶・光雄・光栄など江戸初期から中期にかけての烏丸家代々の名が見える。というより、貴重図書は、烏丸家から譲渡された本

が主になっていると言ってもよい。対して、後半の五百点弱にのぼる書名は、江戸後期から明治期にかけての板本が中心であり、忠能の書入本も間々見える。恐らくは、忠能・秀麿の代に購入されたり、書写されたりしたものと考えられる。分野は、和歌・国学・歴史・漢籍・地図類と幅広い。『書目』を紹介することで、明治期に重きをなした華族の蔵書の有り様を見ることができるとともに、今日所在のわからないものも含めて貴重な典籍についての情報が僅かでも窺えるのではないかと考える。

『書目』は、写本、大本(二四、四種×一六、七種)一冊。共紙表紙、紙縫綴じ。一面十二行の野紙を使用し、墨付き四十五丁である。表紙をはじめ諸処に「督文堂書店」の印が残る。編者については何も記されていない。内容は、編者自身が記した冊頭の凡例にあるように、前半に貴重図書、後半にそうでない書名が並んでいる。原本中、貴重図書の書名に○印はないが、見やすさを考慮して付した。凡例に記す通り、短期間の調査のためか、詳しい奥書を写し取ることはできなかつたようである。それでも後で書き入れようと考えていたらしく、空白の行が頻出している。その箇所は〔空白〕と入れた。また、走り書きと言える筆致のため、誤写や判読不能な文字もある。誤字脱字と思われる箇所には(ママ)を付し、判読不能の文字は□で表した。編者自身が判読できずに□にしている箇所には、

合わせて(ママ)を付した。原本は旧字体と新字体が混在しているが、基本的には新字体に改めた。「?」等はすべて原本のままである。前掲の売立目録に載っている書名と同一書名と考えられるものには、※をつけ目録の番号を載せた。「※復刻」と載せているのは、『復刻』をさしている。

凡例

- 一、本編ハ中山侯爵家所蔵ノ書籍並ニ文書書目ヲ収ム
- 一、本編ハ二大別シテ書籍文書ノ二部ニ分チ、更ニ類從萬葉以下世間的貴重図書並ニ文書ヲ一括シテ貴重図書ノ一項ヲ設ク
- 一、本編ハ多数ノ図書並ニ文書ヲ短時日ノ間ニ考查分類セシモノナレバ、脱漏譌舛ハ必シモ免ルル能ハズ

大正元年六月 編者識

貴重図書

- 新古今和歌集 写(鎌倉初期) 塗箱入 二冊
奥書

- (1) 建長四年三月廿四日以大夫阿闍梨円嘉之自筆本校合畢而朱点□□註同以付之畢抄序者此本雖有端依□□書写了
- (2) 不慮相伝記 僧弁美 相伝畢 鶴丸

- (3) 慶永十一年卯月一日 満義花押
- (4) 延徳二年霜月廿三日正五位上藏人右少弁藤原冬光
函裏書 はこ蓋表張紙札は不昧真院どのの正筆也
- 順徳院御百首 写(徳川初期?) 一軸
奥書
- 弘安五年十月悔日^(マ)以定家卿御自筆本書写了云々
- 八雲口伝 愚問賢註 近来風躰 一冊
箱外題 也足軒筆
奥書 (空白)
- 垂槐集 一冊
箱外題 (空白)
奥書 (空白)
- 明応壬子(空白)
明応九年(空白)
- 古今集 二冊
奥書
- 此本上下以宗牧筆跡令書之記同加校合者也 丹山隠士玄旨花押
- 拾遺愚草 写(足利中世) 四冊 ※八二
- 山卜水 慶長写 二十二冊 塗箱入
延享四年烏丸光榮ノ来由記及目錄付
- 千載集 古写 二冊
- 後撰和歌集 古写 二冊
- 後拾遺集 古写 一冊
- 拾遺集 古写 二冊
- 新古今集 二冊
奥書 (空白)
- 伊勢物語 写(足利中葉?) 一冊
- 狭衣 蝴蝶装 四冊 箱梨子地 袋錦
奥書
- (1) 二條(空白)
- (2) 六年本(空白)
- 箱書 延享二年(空白)
- 百人一首 一冊
箱題箋 資慶御筆
- 箱外題 進上三齋様
表紙外題 小倉山
- 玉吟集 三冊
箱附箋 玉吟集三冊徹書院筆 ※三〇五
- 八代集 七冊
後拾遺 二冊

奥書〔空白〕

永正十年八月 日

新古今 二冊

千載 一冊

金葉 一冊

奥書

此集〔空白〕 永正十一年十月上旬 從二位雅俊

詞華 一冊

〔空白〕 于時永正十一年九月下澣

○源氏物語 五十四帖

筆者不明 紙質墨色共ニ鎌倉末ヲ下ラズ

○三部抄 一冊 卷絵入

飛鳥井雅章筆也

外題 靈元院御筆

○古今和歌集 一冊

奥書

此古今〔空白〕 天文甲午

○菊合 根合 撫子合 三卷

箱裏書

寛平菊合 殿上根合（以上外題）

○三十六人歌集 三十六冊

○河海抄 写（足利中世） 十九冊

宝徳享徳アリ

○新古今和歌集 一卷 ※三〇三

行能筆

○伊勢物語 一冊

筆者不明 慶元ノ頃カ

○詠歌大概 元禄、享保頃カ 一冊

○一筆他流 一卷 ※三一八

元禄以下一人ノ筆ナリ

○耳底記 光広記之一冊 桐箱入

○千五百番歌合 古写（足利中世？） 十冊 塗箱入

○千五百番歌合 古写（足利時代？） 十九冊

○光広卿筆玉葉集ノ内 十二枚一包

○玄旨道記 一冊

光広卿筆

奥書

慶長五五二日□□

○詠歌大概抄 一冊

包紙外題 資慶卿筆

- 歌仙集 一冊
烏丸資慶卿筆（古筆極付）
贈答女房三十六人歌合
- 詠百首和歌 一冊
外題 光広卿筆
- 百人一首 一冊
外題 光雄卿筆
- 未來記 雨中吟聞書 一冊
外題〔空白〕
奥書
- 慶長四年春則重（
○頭輔卿記 一冊
資慶卿筆
奥書
- 寛文四年十一月九日
○百人一首 一冊
紙包外題〔空白〕
奥書
- 貞享第二五月仲旬 蔭宣花押
○朔日冬至次第 一冊 ※三〇五
- 包紙外題 光広卿筆
○百人一首并歌仙 一冊
包紙外題 光雄卿筆
- 新撰（²⁷隨腦 一冊
包紙外題 光雄卿筆一冊
奥書
- 此本〔空白〕寛文八年正月十三日 花押
○百人一首加詞 一冊
包紙外題 光広卿筆
- 正風躰抄 一冊
紙包外題 宣定朝臣筆
- 八代集秀逸 一冊
宣定朝臣筆
奥書
- 宣定書十六歳
○八雲御抄 第三 一冊
一条兼良筆
- 八雲御抄 第一 足利中世 一冊
○歌奥義抄 一冊
法印豪春筆

○統後撰和歌集 上下 二冊
奥書

右〔空白〕元和元年元日

○鷺箱極秘抄 一冊
奥書

吉重刺 花押

足利末ノ後アリ

○芳野路之記 一卷 ※三一九

奥書

元禄三年晚秋下旬

○烏丸光広卿真蹟 一幅

外題 宗家卿手蹟

○装束抄 一卷

箱外題 装束抄 光広卿筆

奥書

(1) 文明十二年卯月上旬為左〔空白〕

(2) 寛永三年〔空白〕

(3) 此一冊以々〔空白〕

○類聚古集 九、十、十八、二十欠、十六冊二卷箱入 ※一
説明書及蓋函書等一包添付

○萬葉集 十一の卷 一冊
奥書

萬葉集十一卷仏樂寺祐弁より被伝増充ニ増充より金蔵寺北院大

光坊阿闍梨慶俊ニ相伝畢秘蔵ノ本也不可及外見

嘉曆三年三月十七日

○家嫡伝授 六通

切紙

題号

仏著 (以上徳川初期)

○今上宸翰 一通

○拾遺和歌集 一卷

明曆三年 資慶

○光栄外題文書 二通

○大角家系図書之附属 一通

○手仁遠波切紙 一通

○次第書 一通

○宸筆 延享二年 一通

○切紙 十八通

〔空白〕

○目録 一通

- 御西院宸筆御文 一通
- 近衛尚通公筆 系図 歌ノ古実 二通
- 後水尾院被授古今集之義後院御座敷構之図 二通
- 和歌読方 資慶卿筆 一通
- 秘々 一通
- 萬葉集御草案 資慶卿筆 二冊
- 高良山十景詩歌 一軸 ※三一九
- 直外題 時明院基時卿筆
- 二四代集 足利末 一冊
- 八雲御抄 十枚
- 附箋 一条冬良卿筆
- 古今集 足利末期 一冊
- かは木 足利末期 一冊 ※復刻
- 和歌 旅之部 鎌倉初期 一冊
- ゑあはせ 一冊 ※復刻
- 題箋
- 文永三年九月二十三日校合了
- みゆき 一冊 ※復刻
- すゝむし 一冊 ※復刻
- わかむらさき 一冊 ※復刻
- あけまき切 一冊 ※復刻
- ラリルレロノ歌 足利中世 一冊
- 何ノ船 一冊
- 奥書 [空白]
- 于時弘治元年十一月 細川兵卿大輔□伝了花押
- 東大寺正倉院御宝物之図 古写 一卷 桐箱入 ※三二七
- 続古今集作者部類 一卷 桐箱入 ※三二八
- 外題 真観筆
- 二条為氏卿筆(古筆了仲極)
- 裏 二條宗于書
- 光広卿筆御教書類 一卷 ※三二七
- 伊勢物語光広卿御聞書 一卷
- 水無瀬黄門氏成請見
- 光宣公筆御詠已下 一卷
- 奥書
- 右也足軒被進光宣公之状也
- 光広卿筆定考次第 一卷 ※九三
- 奥書
- 右此記定家卿自筆書写之被卿之筆(空白)
- 寛永第二仲秋三十日 亜相藤 花押

○幽齋筆消息

包紙外題

□^マ様人々御中 幽齋

○光広卿消息 一卷

○光賢卿筆廻文等 一卷

○光広卿筆三十首御詠草案 一卷

○光広卿筆元三殿上淵醉次第 一卷

○尊円親王御筆雲林院別当職事 一卷

○宣秀卿以下懷紙 一卷

○也足軒筆一夜百首短尺 百枚

○十二月和歌 古写 一卷 ※三一七

高 橋 昌 彦

源義昌朝臣菅家の障子の為に人々をすすめてよませ侍りし色紙の
歌

○光広卿筆歌之写 一卷

○光広卿筆和歌留 一卷

○和歌写 天正十八年写 一卷

月下擣衣以下

○文永賀茂祭図 一卷

奥書

此絵亀山院御属令三村経業卿〔空白〕

○光広卿筆御文已下雑 一卷

○広長七年御記 一卷

光広卿筆

年中御事慶長七年

○光広卿筆絵図 一卷

○光広卿筆和歌 一卷

○俊頼口伝切 一包

○七玉集之中 古写二枚入 一包

○義尊 花押判 一枚

○詠五十首和歌切 古写三十三枚 一包

○光宣公筆 一枚

○和歌奥義抄 古写 二枚一包

○古今和歌集 足利中世之写 一冊

○拾遺和歌集切以下 一包

拾遺集切二冊 歌切三枚 新古今集外題表紙一枚 無心所着歌一冊

○新後拾遺和歌集 一冊

奥書

斯一冊新拾遺和歌集者中御門垂相宣秀卿所毫也〔空白〕

○千載和歌集 二冊

- 一冊八宗祇法師筆（古筆極附）
一冊八中御門宣輔卿筆
奥書
- 新古今和歌集 一冊
宣輔
応永八年四月上旬之頃以一條三位本令書写了
参議藤原朝臣
- 新古今和歌集 一冊
孤竹斎宗牧筆（古筆極附）
- 信田杜 一冊
奥書
右信田杜之千首以禁裏
題無歌処
寛永第十八月初九
- 詠歌一昧
也足子筆
奥書
- 新後撰和歌集 一冊
以右之奥書本（空白）
清水谷実秋筆
- 続後拾遺和歌集 一冊
三条公頼公筆
- 奥書
斯集左大臣三条公頼公真筆也 花押
- 続古今和歌集 一冊
和歌所堯孝法印筆（古筆極附）
外題六字
中外題三字
- 玉吟集 一冊
烏丸光広卿筆 所々阿野実顕書繼（古筆極附）
奥書
以曼受院宮御本書写畢同一校了
慶長庚子年二月廿日
- 関疑抄^(マ) 古写 二冊
奥書
文禄五年 法印玄旨
- 僻案抄 古写 一冊
奥書
烏丸光栄
- 古今和歌集註拔書 一冊
烏丸光賢卿筆

裏光広卿筆伊勢物語外ニ大倉法橋信古ノ極書添

○也足軒着到百首和歌 一冊

箱外題光広卿筆

○名所之歌 足利末期 一冊

○風雅集 一冊

箱外題光広卿筆

○花見の記 一冊

箱外題光広卿筆

○玉葉 写(室町末期) 六十七冊

○愚昧記 八冊

奥書

寛文九年藤原内房ノ校了

○將軍家之一通 四十通一軸

延文二年 一通

永和三年 一通

同年 一通

同年 一通

嘉慶二年 (空白)

文徳実録 二冊

日本後紀 二冊

続日本後紀 一冊

三代実録 十冊

日本書紀 六冊

続日本後紀 五冊

続日本紀 十冊

大日本輿地便覽 二折

大日本輿地便覽 二冊

大日本全図之内ノ奥州一円誌 一折

府郷御江戸絵図 一折

新刻大日本程路全図 一折

五畿内掌覽 一折

大日本海陸全図 一折

国宝大阪全図 一折

京都細見図 一折

皇都細見図 一折

洛中洛外町々小名ノ大成京細見絵図 一折

北海道国郡図 一折

大日本国郡輿地路程全図 一折

訂正国史略 版 二冊

- 改正日本輿地路程全図 一折
大日本全図之内／越後一円誌 一折
新刻大日本程路全図 一折
伊豆七島全図 一折
御謚号年号読例 二冊
松島写真全図 一折
慶応改正／東京大絵図
安政改正／御江戸大絵図
新律綱領 一冊
分間江戸大絵図 一折
丹鶴図譜 調度部 二冊
勇魚取絵詞 二冊
南山踏雲録 一冊
千歳の幾久 一冊
類題草野集 一冊
和漢／朗詠国字抄 二冊
邦光社歌会第一集 一冊
山高水長図記 三冊
校正職人歌合 一冊
里見八犬伝 二十冊
- ろあむ和歌集 写 一冊
法曹至要鈔 一冊
奥書 滋野井公麗卿
読史論略 一冊
舞楽薬葉集大全 元禄版 六冊
常陸風土記 一冊
日本武仙 写 一冊
奥書 本書ハ従三位子爵立花種恭殿秘蔵 明治三十年八月御借用
膳写了
群書一覽 六冊
四書 三冊
東海木曾／両道中懷宝図鑑 一冊
合類大節用集 享保版 四冊
奥羽行程／掌中便覧 一折
大日本海路図 二折
日本輿地全図 一折
箱館全図 一折
大日本早見道中記 二折
懷中輿地図 一折
東都近郊全図 一折

- 大日本改正全図 一折
慶応改正／大阪細見全図 一折
大坂指掌図 一折
撰海一覽 一折
東京全図 明治二年版 一折
駅路便覽 一折
横浜案内絵図 一折
関八州路程全図 一折
懷宝甲斐国絵図 一折
荷田大人啓 一冊
稽古要略 一冊
宮比神御伝記 一冊
出定笑語附録 三冊
報徳記 八冊
大祀 二十一冊
本朝官制沿革図考 写 一冊
御系譜 写 一冊
世俗浅深秘抄 写 一冊
浅浮抄 写 一冊
諒闇抄 写 一冊
- 皇太神宮儀式帳 写 一冊
続類聚 古写 二冊
地下官人職掌 写 一冊
恒例諸司職掌 写 一冊
年中行事 写 一冊
年中行事 写 一冊
年中行事 写 一冊
皇居年表 写 十冊
二所太神宮儀式帳 写 一冊
令義解 写 四冊
令義解 写 一冊
関市令 写 一冊
本教真訣 一冊
禁裏政要 写 一冊
本教真訣略解 一冊
公事根源 元禄版 一冊
和漢年契 安政版 一冊
和漢年契 寛政版 一冊
首註陵墓一隅抄 安政版 一冊
寛政造内裏 写 一冊
吉部秘訓抄 写 一冊

- 飭抄 写 一冊
- 校訂書入明和六年右近中将基村
雅言集覽(あくな) 九冊
- 和訓栞 四十七冊
- 出雲問答 一冊
- 教会撮要 一冊
- 皇祖事蹟弁 一冊
- 神道新論 一冊
- 門院号 女院 写 一冊
- 宿徳装束抄 写 一冊
- 水鏡 写 三冊
- 松陰先生武教講説 二冊
- 歴朝神異例 二冊
- 九條年中行事 一冊
- 葬祭式 二冊
- 日本復古詩 二冊
- 物具装束抄 写 一冊
- 草孔堂遺文 二冊
- 北山抄 写 一冊
- 北山抄羽林裏書 写 一冊
- 禁秘御鈔 一冊
- 書入 忠能公
諸家伝
- 他五辻家伝一冊 花山院庶流家伝一冊 諸家伝目録一冊 大臣名
一冊 花山院家類聚一冊 難波家伝一冊 他二冊 補遺六通(一
括)
- 謡曲拾要抄 明和版 二十冊
- 和論語 十冊
- 古事記伝 四十八冊
- 祝詞考 六冊
- 大祓詞後釈 二冊
- 歴朝紹詞解 六冊
- 新類題和歌集 六冊
- 竹取物語抄 一冊
- 老婆心書 二冊
- 参考平治物語 二冊
- 参考保元物語 三冊
- 桂園一枝 五冊
- 公事根源 一冊
- 五海道中細見記 一冊

- | | | | |
|-----------|-----|----------------------------|------|
| 源平盛衰記図会 | 三冊 | 住吉名勝図会 | 五冊 |
| 類字名所和歌集 | 二冊 | 金毘羅名所図会 <small>(マ)</small> | 六冊 |
| 類字仮名遣 | 一冊 | 伊勢參宮名所図会 | 六冊 |
| 三代調類題 | 十八冊 | 善光寺道名所図会 | 五冊 |
| 匠材集 寛永版 | 一冊 | 西国三十三所名所図会 | 十冊 |
| 歌題歳時表 | 一冊 | 二十四輩順拜図会 | 十冊 |
| 龍吟譜 写 | 一冊 | 翠巒集 忠能公歌集 | 一冊 |
| 雅言集覽(はくわ) | 九冊 | 戊辰戦記絵巻 | 一冊 |
| 東都名所図会 | 二十冊 | 古文書写真版 内閣記録局編 | 一冊 |
| 和論語 | 十冊 | 西宮記 写 | 三十冊 |
| 源氏男女装束鈔 | 三冊 | 北山抄拾遺並雜抄 写 | 二冊 |
| 歌林雜木抄 | 六冊 | 延喜式 正保版 | 四十九冊 |
| 初学和歌式 | 二冊 | 八代集 | 十五冊 |
| 大和名所図会 | 三冊 | 公卿補任 同別本三冊 写 | 三十五冊 |
| 河内名所図会 | 二冊 | 類題鱈玉集 | 十四冊 |
| 和泉名所図会 | 二冊 | 名物六帖 | 七冊 |
| 紀伊名所図会 | 七冊 | 金銀図録 | 七冊 |
| 東海道名所図会 | 六冊 | 存採叢書 | 十八冊 |
| 木曾路名所図会 | 三冊 | 草露貫珠 | 二十三冊 |
| 東都名所図会 | 七冊 | 類題和歌集 元禄版 | 三十冊 |

- 類題和歌集 三十二冊
芳宜園集 二冊
水府小言 一冊
和歌詠格 写 一冊
加賀藩史稿 八冊
日本外史補編 三冊
日本外史補編附録 一冊
皇朝戰略編 十五冊
大日本史 百冊
国史略 七冊
都名所図会 六冊
都名所図会拾遺 五冊
花洛名所図会 八冊
萬葉類葉抄 二冊
萬葉集類句 五冊
萬葉集見安補正 四冊
萬葉集 二冊
奥書 実萬卿写東行土産被遺云々 忠能公
萬葉集略解 三十冊
和漢三才図会 二冊
- 江家次第 十九冊
大系図 二十四冊
日本書紀 十六冊
中朝事実 二冊
日本逸史 二十一冊
明治孝節録 四冊
和歌題林抄 三冊
類聚国史 二十七冊
類聚国史考異 三冊
謡本 觀世 二十冊
類題和歌集 十冊
栄花物語 二十一冊
江戸切絵図 嘉永安政 三十折
拾芥抄 三冊
職原略抄 一冊
有職抄 三冊
職原抄 校合書入本 二冊
改正／職原抄 二冊
標註職原抄校本 一冊
標註職原抄校本 別記 一冊

- 令義解 十冊
神皇紀略 五冊
禁秘御抄階梯 三冊
江家次第 校合書入本 承応版 十一冊
百首部類 四十二冊
日本制度通 三冊
古今和歌集 写 一冊
幼学綱要 七冊
和歌吳竹集 一冊
新類題和歌集 十二冊
古事記序解 一冊
享禄本類聚三代格 五冊
続日本後紀 二十冊
校合書入奥書 忠能公
訂正／古訓古事記 三冊
訂正／古訓古事記 三冊
旧事本紀 寛永版 十冊
古事記 寛永版 三冊
文徳実録 寛永六年版 五冊
校合書入 忠能公
- 三代実録 寛永版 二十一冊
庭訓往来絵抄 一冊
用文章絵抄序 一冊
和歌八重垣 三冊
名所新松葉集 一冊
和歌新選二葉艸 二冊
和歌吳竹集 三冊
中古和歌類題集 二冊
立マ元マ文 一冊
自点真璞集 四冊
檜之婦手 五冊
苔清水後集 三冊
歌格類選 一冊
詞のやちまた 二冊
教合マ撮要 一冊
詞通路 二冊
古今和歌集 二冊
冠辞考 十冊
奈留美加多 五冊
東都歳時記 一冊

- 小野篁歌字尽 一冊
開化千字文 一冊
南朝遺史 三冊
内外詠史歌集 二冊
御垣の下草 二冊
みちのつと 一冊
千歳のきく 一冊
御山のしをり 二冊
源氏物語忍草 五冊
柳乃露 二冊
栗廼花 一冊
いとさくら 二冊
恵仁春之陰 二冊
和歌布留の山ふみ 一冊
和歌三代集類題 一冊
名家歌集類題 一冊
新呉竹集 一冊
続和歌明題部類 一冊
本朝新刀一覽 一冊
装剣奇賞 二冊
- 和歌言葉千種 二冊
和歌麓の塵 一冊
ふるの山ふみ 一冊
時習軒松見聞書茶道秘録 一冊
真学集便蒙細註 四冊
古刀銘尽大全 三冊
京之水 一冊
文語碎錦 一冊
日本倫理史稿 一冊
姉小路公知伝 一冊
和歌棊の葉 一冊
和歌麓の塵 一冊
和歌手引之糸 一冊
紫文製錦 二冊
古今選 三冊
近世名家歌集類題 一冊
禁裏御所准后御殿絵図 一折
和州奈良之絵図 一冊
日本史籍年表 一冊
大日本神祇史 一冊

- 靈能真柱 二冊
玉櫛^(カ) 九冊
天津祝詞考 一冊
皇典文彙 三冊
神代御系図 十折
赤縣歷代尺図 一枚
悟道弁 二冊
天満宮御伝記略 一冊
神惠略述頌 一冊
比売嶋考 二冊
古史徴 二冊
皇国度制考 一冊
弘仁歴運記考 一冊
祝詞正訓 一冊
医宗神景考 一折
神代系図 一折
太元図説 一冊
古道大意 二冊
俗神道大意 四冊
古学二千文 一冊
- 古道訓蒙頌 一冊
四賢伝 一冊
入学問答 一冊
童蒙入学門 一冊
古今妖魅考 三冊
出雲問答 一冊
絵本通俗三国志 十五冊
橘庵漫筆 一冊
新撰大和往来 一冊
草偃和言 一冊
朝鮮征討始末記 一冊
迪彝篇 一冊
浜の真砂子 二冊
詠歌大概抄 写 三冊
神思記 一冊
四裔編年表 一冊
京都叢書 十二冊
内外詠史歌集 二冊
伊香保志 三冊
槐陰集 二冊

- 諸家系図 一折
法普戦争誌略 七冊
新田族譜 一冊
佐美太礼集 一冊
都気能雄久志 一冊
六華集 二冊
続皇朝史略 二冊
旧典類纂／皇位継承篇 六冊
旧典類纂／皇位継承篇(零本) 二冊
国史纂論 五冊
皇朝史略 三冊
蚩蠅抄 三冊
纂輯御系図 二冊
古今和歌集正義 九冊
さくらの林 二冊
倭訓栞後編 六冊
志都乃石室 二冊
古道大意 二冊
皇典文彙 三冊
俗神道大意 四冊
- 古史成文 三冊
気吹颯 二冊
仮名古事記 三冊
大祓執中抄 三冊
古今妖魅考 三冊
牛頭天王曆神弁 一冊
神徳略述頌 一冊
古道訓蒙頌 一冊
古記録類 十二帖
東京大絵図 一折
松島勝譜 一冊
大道問答 一冊
志都乃石室 二冊
近世事情 十冊
近世四戦記聞 三冊
泰西国法論 四冊
征韓偉略 五冊
中洲文稿 六冊
百科字彙 一冊
絵入南総／里見八犬伝 四冊

- 大日本国民専用実地有益大全 二冊
宮比神御伝記 一冊
官員勅奏一覽 一冊
仏道新論 一冊
為朝再興記 一冊
真書太閤記 二十二冊
明治孝節録 四冊
大道要義 一冊
近世紀聞 九冊
大日本開闢由来記 二冊
上卷奥書 此一冊ハ自祐宮忠光拝受
蓬萊園記 二冊
岩倉贈太政大臣集 二冊
埋木廼花 二冊
能狂言之図 南溟自筆 一冊
御行幸之図 一冊
養蚕秘録 一冊
古今刀剣類字銘尽 一冊
鍛冶考 二冊
古今新刀／目利早手引 一冊
- 新刀弁疑 九冊
弓法伝書 四冊
古今鍛冶銘早見出 一冊
名乗字引 一冊
朝鮮国細図 一冊
物草太郎 二冊
翠巒遺艸 写 四冊
岩倉公実記 二冊
三條実美公年譜 三十冊
明治新撰泉譜 一冊
長岡雲海公伝 十冊
新刻日本暗射図指南譜 一冊
久光公記 一冊
大日本帝国憲法註釈 一冊
英国皇室制度雜纂 一冊
慶応三年東京図 一折
葉の湯早まなび 一冊
涉成園記 二冊
晃山勝概 三冊
鉄道線路略図 一折

- 小牧陣始末記 一冊
蓬園月次歌集 一冊
内外一覽 一冊
改定律例 三冊
百家類葉和歌集 一冊
後漢書 慶長版 五十冊
春秋左氏伝校本 十五冊
韓文 四十冊
善身堂誌鈔 三冊
広金石韻府 六冊
古文孝経標註 五冊
聖蹟図志 二冊
東京玉篇 二冊
明律国字解 八冊
書経 二冊
詩経 二冊
悟道弁 二冊
大道或問 一冊
貞観政要 文政 十冊
貞観政要 天和三年 六冊
- 從政名言 官版 一冊
干録字書 官版 一冊
李忠定公集鈔 二冊
帝鑑図説 官版 六冊
左伝 明崇禎十一年版 十冊
東萊博儀 明版 四冊
円機活法 寛文版 四十冊
明詩礎 他雜五冊共 七冊
四書大全 珍本 二十冊
論語集解標註 二冊
杜詩 明版 六冊
經典余師 十冊
李詩 八冊
資治通鑑 天明版 八十四冊
五車韻瑞 明版 二十二冊
通鑑攬要 十冊
佩文韻府 明治十五年版 百二冊
史記評林 明治版 五十冊
徵古新論 三冊
康熙字典 二十冊

- 康熙字典考異正誤 二冊
田機活法 二十冊
大学或問 二冊
經典余師 十冊
幼学綱要 七冊
四書 十冊
三韻通考 一冊
古史成文 二冊
古文孝經 一冊
国語 四冊
戦国策 寛保 六冊
増評八大家文読本 十六冊
零本法帖 一帖
十八史略備考 七冊
牛渚漫録 五冊
清国大家書集 一冊
五經 十一冊
康熙字典 六十一冊
田機活法 寛文 二十冊
文選 二十九、三十、欠本 寛文版 五十九冊

- 支那全図 一折
唐宋詩語玉屑 五冊
大学 朝鮮版 一冊
童蒙入学門 一冊
古学二千文 一冊

参考文献

- 近藤敏喬編『宮廷公家系図集覧』（平成六年・東京堂出版）
小和田哲男監修『日本史諸家系図人名辞典』（平成十五年・講談社）